

大分県防災グッズフェアで自然災害に関する保険を普及

～県内の商業施設等で開催された防災グッズフェアに地震保険パンフレット等を提供～

一般社団法人日本損害保険協会九州・沖縄支部では、8月24日(月)～9月6日(日)に、大分県が主催し県内のホームセンターやスーパー・マーケットを運営する協力企業3社の店舗で開催された「防災グッズフェア」にパンフレットやチラシを提供しました。

当支部からは、県民の防災意識の向上および災害に対する備えを促すことを目的に、地震保険パンフレット「備えて安心 地震保険の話」を2,400部、「水災への備え、本当に大丈夫ですか?」のチラシを1,200部提供し、大分県民に自然災害に関する保険の普及啓発に取り組みました。

大分県では、令和7年3月に制定した第2期大分県地震・津波防災アクションプランの基本理念の中で、「大規模地震による被害の最小化を図るため、自助・共助・公助からなる減災社会を実現し、安心して心豊かに暮らせる大分県」を目指しています。

当協会では、大規模な自然災害が発生した場合でも自助・共助・公助からなる減災社会の実現はもちろん、早期の復興・復旧もはかれるよう、今後も大分県や関係機関とも協力しながら自然災害に関する保険の普及を通じ、安心して心豊かに暮らせる大分県の実現に向けて取り組んでまいります。



協力企業のグッズ紹介ブース



地震保険パンフレット(表)



水災パンフレット(表)